



平成 24 年 6 月 11 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ラ ン ド
代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 松 谷 昌 樹
役 職 氏 名 (コード番号 8918 東証第一部)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 部 長 佐 瀬 雅 昭
電 話 番 号 0 4 5 - 3 4 5 - 7 7 7 8 (代 表)

シニア事業における新規施設開設に関するお知らせ②

平成 23 年 8 月に第三者割当増資により調達した資金を有効的に活用し、当社のコア事業の一つでありますシニア事業における新規施設を開設いたしましたので、下記の通りご報告申し上げます。

記

当社グループのシニア事業につきまして、有料老人ホーム「ネクサスコート」シリーズの 11 施設目として、「ネクサスコート北大前（北海道札幌市北区）」を平成 24 年 6 月 10 日に開設いたしました。

当社グループのシニア事業は、主に首都圏、北海道（札幌）エリア、東北（仙台）エリアで展開しております。本施設は、「ネクサスコート真駒内（北海道札幌市南区）」、「ネクサスコート白石南郷（北海道札幌市白石区）」に続く、北海道（札幌）エリアでの 3 施設目の開設であり、既存施設と同様に高い評価をいただけるよう役職員一同邁進してまいります。

本施設は、地下鉄南北線にて 3 駅目の「北 24 条」駅より徒歩 5 分の札幌市市街地に位置し、医療機関や商業施設が充実した住環境と利便性を兼ね備えた施設となっております。

平成 24 年 6 月 1 日付で新規開設いたしました「ネクサスコート愛宕（宮城県仙台市太白区）」と同様に、本施設につきましても、「ネクサスコート」シリーズの特長であります「24 時間看護師常勤」、「専任の理学療法士」、「ご入居者様の様々なご要望にお応えするコンシェルジュ」の配置はもちろんのこと、各種医療機関と協力連携をとり各種専門医の往診とターミナルケアを実現、ご入居者様全員に充実した生活を過ごして頂くため、レベルの高いケア体制にて様々なサービスをご提供してまいります。

本施設の開設により、当社グループのシニア事業における有料老人ホームの運営施設数は 11 施設、運営室数は 844 室、ご入居者様定員数は 928 名様となります。これに、現在計画及び協議中の新規案件を考慮すると、近々に、運営室数及びご入居者様定員数が共に 1,000 室、1,000 名様を超える見通しであります。当社といたしましても、本事業を行うことの社会的意義を自覚し、ご入居者様に「心から喜んでいただける」施設創りに注力してまいります。

なお、本施設の開設は、今期の業績予想において見込み済みではありますが、計画を保守的に見込んでいるため、今後の契約の進捗状況により見直しの必要がある場合には、当該業績予想を速やかに見直す予定であります。

【ネクサスコート北大前 施設概要】

所在地 : 北海道札幌市北区
 交通 : 札幌市営地下鉄南北線「北24条」駅
 徒歩5分
 規模 : 鉄筋コンクリート造
 地下1階 地上8階建
 総室数 : 86室 (一人部屋74室、二人部屋12室)
 定員数 : 98名
 開設 : 平成24年6月10日



◆既存の各施設の入居状況 (平成24年5月末日現在)

| 施設名 | 総室数 | 入居室数 | 入居率 | 備考 |
|---------------|-----|------|------|----|
| ネクサスコート本郷 | 98 | 96 | 98% | ※ |
| ネクサスコート本郷台 | 77 | 75 | 97% | ※ |
| ネクサスコート真駒内 | 65 | 65 | 100% | |
| ネクサスコート練馬 | 62 | 60 | 97% | ※ |
| ネクサスコート多摩川桜並木 | 69 | 68 | 99% | ※ |
| ネクサスコート白石南郷 | 60 | 59 | 98% | ※ |
| ネクサスコート久地 | 75 | 75 | 100% | |
| ネクサスコート泉中央 | 90 | 90 | 100% | |
| ネクサスコート青葉台 | 76 | 75 | 99% | ※ |
| 合計 | 672 | 663 | 99% | |

※ 100%達成後退去 (ご逝去) 者が発生。現状は数名の待機者あり。

新規開設施設

| 施設名 | 総室数 | 備考 |
|-------------|-----|----------|
| ネクサスコート愛宕 | 86 | 6/1 開設済 |
| ネクサスコート北大前 | 86 | 6/10 開設済 |
| 合計 (新規施設含む) | 844 | |

当社グループといたしましては、レジデンシャル事業とシニア事業を収益の二本柱として、業績の早期回復に向け、今後も引き続き業務に邁進してまいり所存であります。株主・投資家の皆様におかれましては、何卒一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上